

支援プログラム

事業所名 発達支援教室 わかくさ大庄南

作成日 令和7年 2月 10日

法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します	
支援方針		●支援学校卒業後の将来を見据えて、個別・集団のプログラムを提供し、基本的な生活スキルの向上を目指します。コミュニケーション力や社会性を養い、少しでも自分でできることを増やし、将来の社会参加を目指して支援します	
クラス		集団療育	
営業時間		学校休校日：11時00分～17時00分／学校開校日：14時00分～17時10分	
送迎		あり	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康で安定した生活習慣・リズムを身につける 利用者本人への生活習慣の聞き取り、自身の服装の乱れなどを一緒に確認する身だしなみチェック	
	運動・感覚	日常生活・将来の社会参加に必要な動作や巧緻性を獲得する 屋内活動…ハサミやのりなどの道具を使う制作活動、自分の思いついた内容を自由に表現するお絵描き、楽器遊びなど 屋外活動…戸外でのイベントの参加、公園など身体を自由に動かせる場面でのルール性のある集団遊びなど	
	認知・行動	自分で考え状況を理解し、判断・行動できる力を養う 話、説明、指示を聞いたり、周囲の状況や様子を見て、自分で考え行動できる力を養う 自身の行動について、職員と振り返り、次はどうすればよいかを一緒に考える	
	言語 コミュニケーション	状況に適した文章や表現、伝え方を身につける 相手に対して適切な言葉かけができるよう具体的な助言を行う。「ありがとう」「ごめんなさい」など相手とのやり取りで必要な言葉や2語文、3語文の促し	
	人間関係 社会性	自己及び他者の気持ちや思いを理解し円滑な人間関係を形成する 設定活動や自由遊び等の場面を通して、職員が間に入りながら他者と関わる機会を増やす・職員が気持ちの代弁を行うことで利用者が安心して自分の思いを表現できるようにする 社会で生活するうえで必要なマナーやルールをともに確認し、意識づけできるようにする	
家族支援		日々の様子を連絡シート・送迎時にお伝える。面談時には詳しい支援内容や、家庭・学校・他事業所等の情報を共有し、本児の理解を深め家庭でのより良い過ごし方を検討・提案をしていく	
移行支援		各関係機関と連携し、卒業後の進路について検討していく。本児の強みや課題等分析し、後の就労支援や生活介護等の利用に備え、支援内容の充実を図る	
地域支援・地域連携		支援学校・他事業所・相談支援事業所等と支援内容や課題等を共有し、連携を図る	
職員の質の向上		法人及び外部主催の研修を受講し、研修内容を職員間で共有する ケース会議や勉強会を開催し、職員同士での意見交換を行う	<p>主な行事等</p> <p>戸外活動（科学館、動物園、ショッピングモール、外食、買い物など） 季節ごとの制作やイベント（お正月、節分、ハロウィン、クリスマスなど）</p>